

16 ('04 東北大)

【難易度】…標準

 z を絶対値が 1 の複素数とする．このとき以下の問いに答えよ．

- (1) $z^3 - z$ の実部が 0 となるような z をすべて求めよ．
- (2) $z^5 + z$ の絶対値が 1 となるような z をすべて求めよ．
- (3) n を自然数とする． $z^n + 1$ の絶対値が 1 となるような z をすべてかけ合わせて得られる複素数を求めよ．

【テーマ】：極形式とド・モアブルの定理

方針

$|z| = 1$ であるから $z = \cos\theta + i\sin\theta$ において考えます．また、2 つの複素数 $\arg(z_1) = \theta_1$, $\arg(z_2) = \theta_2$ において、 $\arg(z_1 z_2) = \arg(z_1) + \arg(z_2)$ が成り立つことを利用します．

解答

- (1)
- $|z| = 1$
- であるから、
- $z = \cos\theta + i\sin\theta$
- (
- $-\pi < \theta \leq \pi$
-) とおくことができる．よって、

$$\begin{aligned} z^3 - z &= (\cos\theta + i\sin\theta)^3 - (\cos\theta + i\sin\theta) \\ &= \cos 3\theta - \cos\theta + i(\sin 3\theta - \sin\theta) \end{aligned}$$

となる．実部が 0 であることから、

$$\cos 3\theta - \cos\theta = 0 \iff \cos\theta(\cos^2\theta - 1) = 0$$

よって、 $\cos\theta = 0, \pm 1$ である． $-\pi < \theta \leq \pi$ より、

$$\theta = 0, \pm\frac{\pi}{2}, \pi$$

であるから、求める複素数 z は、 $z = \pm 1, \pm i$ ……(答)

- (2)
- $z^5 = \cos 5\theta + i\sin 5\theta$
- である．

$$\begin{aligned} z^5 + z &= (\cos\theta + i\sin\theta)^5 + (\cos\theta + i\sin\theta) \\ &= \cos 5\theta + \cos\theta + i(\sin 5\theta + \sin\theta) \end{aligned}$$

 $|z^5 + z| = 1$ であるから、 $|z^5 + z|^2 = 1$ である．ゆえに、

$$\begin{aligned} (\cos 5\theta + \cos\theta)^2 + (\sin 5\theta + \sin\theta)^2 &= 1 \\ \cos^2 5\theta + 2\cos 5\theta \cos\theta + \cos^2\theta + \sin^2 5\theta + 2\sin 5\theta \sin\theta + \sin^2\theta &= 1 \\ 2(\cos 5\theta \cos\theta + \sin 5\theta \sin\theta) + 2 &= 1 \\ 2\cos(5\theta - \theta) = -1 &\iff \cos 4\theta = -\frac{1}{2} \end{aligned}$$

 $-\pi < \theta \leq \pi$ であるから、 $-4\pi < 4\theta \leq 4\pi$ である．よって、

$$\begin{aligned} 4\theta &= -\frac{10}{3}\pi, -\frac{8}{3}\pi, -\frac{4}{3}\pi, -\frac{2}{3}\pi, \frac{2}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi, \frac{8}{3}\pi, \frac{10}{3}\pi \\ \theta &= -\frac{5}{6}\pi, -\frac{2}{3}\pi, -\frac{1}{3}\pi, -\frac{1}{6}\pi, \frac{1}{6}\pi, \frac{1}{3}\pi, \frac{2}{3}\pi, \frac{5}{6}\pi \end{aligned}$$

ゆえに,

$$z = \pm \frac{1}{2} \pm \frac{\sqrt{3}}{2}i, \pm \frac{\sqrt{3}}{2} \pm \frac{1}{2}i \quad (\text{複号任意}) \cdots \cdots (\text{答})$$

(3) $z^n = \cos n\theta + i \sin n\theta$ である.

$$z^n + 1 = (\cos \theta + i \sin \theta)^n + 1 = \cos n\theta + 1 + i \sin n\theta$$

$|z^n + 1| = 1$ であるから, $|z^n + 1|^2 = 1$ である. よって,

$$(\cos n\theta + 1)^2 + \sin^2 n\theta = 1$$

$$\cos^2 n\theta + 2\cos n\theta + 1 + \sin^2 n\theta = 1 \iff \cos n\theta = -\frac{1}{2}$$

ゆえに, $n\theta = \pm \left(\frac{2}{3}\pi + k \times 2\pi\right)$ (k は 0 以上の整数) と表すことができる. $n = 1, 2, 3, \dots$ とするとき,

$$\theta = \pm \frac{2}{3}\pi, \theta = \pm \frac{2}{3}\pi, \pm \frac{4}{3}\pi, \theta = \pm \frac{2}{3}\pi, \pm \frac{4}{3}\pi, \pm \frac{8}{3}\pi, \theta = \dots$$

のようになるため, $\arg z = \theta$ と $\arg z = -\theta$ である複素数がセットで現れる. そのため, m を自然数として一方の複素数を z_m とすればもう一方の複素数は \bar{z}_m となる.

ゆえに, 求める複素数の積は, $z_m \bar{z}_m = |z_m|^2 = 1$ であることから,

$$z_1 \bar{z}_1 \cdot z_2 \bar{z}_2 \cdot z_3 \bar{z}_3 \cdots z_n \bar{z}_n = |z_1|^2 |z_2|^2 |z_3|^2 \cdots |z_n|^2 = 1 \cdots \cdots (\text{答})$$

となる.



解説

(1) は, 極形式で表さなくても次のようにして解くことができます.

別解

題意より, $z^3 - z$ は純虚数であるから,

$$z^3 - z = -\overline{(z^3 - z)}$$

が成り立つ. この式を変形すると,

$$\begin{aligned} z^3 - z &= -(\bar{z})^3 + \bar{z} \iff z^3 + (\bar{z})^3 - (z + \bar{z}) = 0 \\ &\iff (z + \bar{z}) \{z^2 - z\bar{z} + (\bar{z})^2\} - (z + \bar{z}) = 0 \\ &\iff (z + \bar{z}) \{z^2 - z\bar{z} + (\bar{z})^2 - 1\} = 0 \\ &\iff (z + \bar{z}) \{z^2 - 2z\bar{z} + (\bar{z})^2\} = 0 \quad (\because |z|^2 = 1 \iff z\bar{z} = 1) \\ &\iff (z + \bar{z})(z - \bar{z})^2 = 0 \end{aligned}$$

ゆえに, $z = -\bar{z}$ または $z = \bar{z}$ すなわち z は実数または純虚数である. $|z| = 1$ であることから, 求める複素数 z は, $z = \pm 1, \pm i \cdots \cdots (\text{答})$

(2) の複号任意というのは, 符号はすべての組合せをとるということを意味します. すなわち, $z = \pm \frac{1}{2} \pm \frac{\sqrt{3}}{2}i$ (複号任意) とは,

$$z = \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i, \frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}i, -\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i, -\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}i$$

の 4 つを表しています.

(3) では, 複素数の積を考えます. 複素数の積は偏角の和になります. $\arg z = \theta$ と $\arg z = -\theta$ となる複素数がセットで現れるのですから, その和は 0 となります. すなわち積は $\cos 0 + i \sin 0 = 1$ になるということです.